

文部省検定済教科書

教育部
資料室

贈
呈

小学生のしゃかい 子どもあそびば

教科書文庫
6
301
34-1950
0130449995

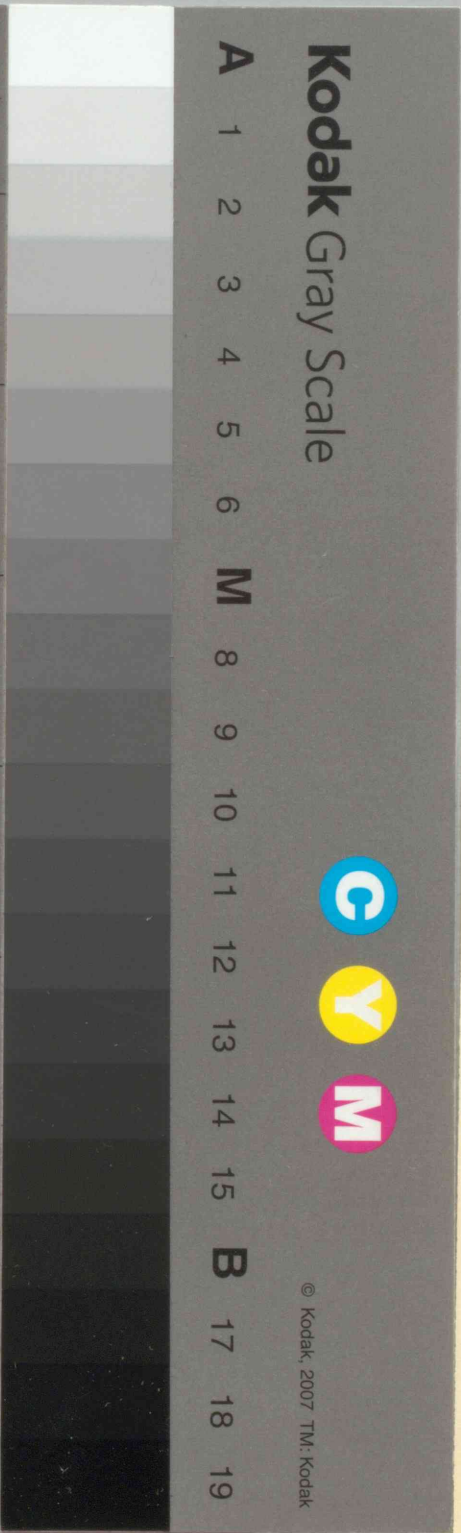
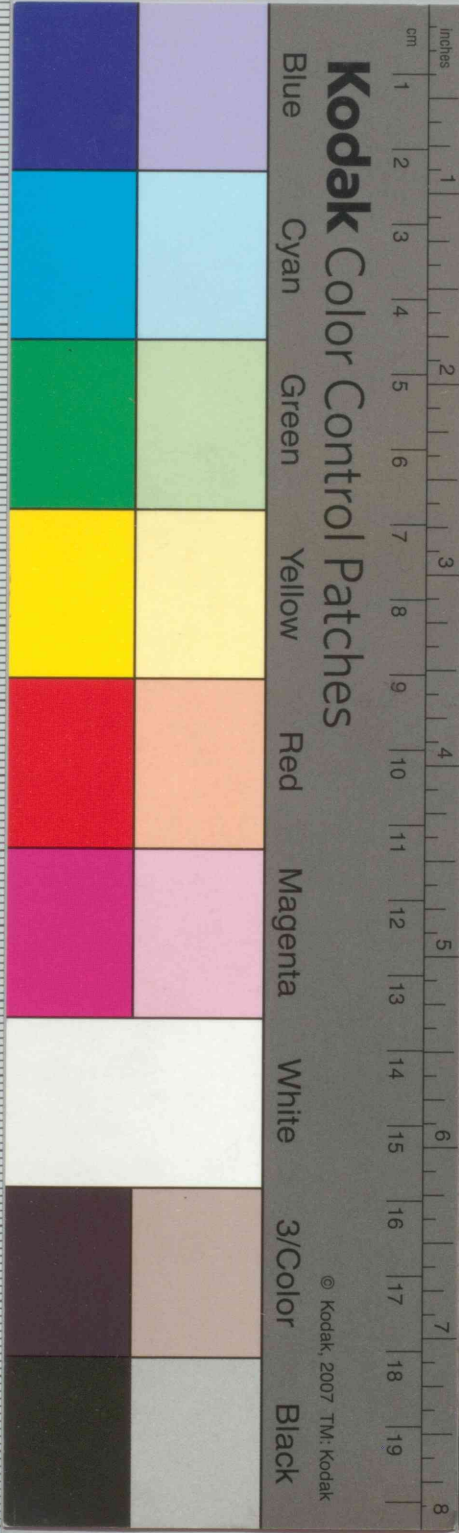
坂西志保 編

1
日書 小社 201

小KD
N87

2

にっぽん しよせき



60027

教科書文庫

5.
300
34-1950
01304
49995



昭和 年 月 日
 文部省検定済
 小学校社会科用

教科書文庫
 6
 301
 34-1950
 0130449995

小学生のしゃがい 子どものあそびば

2年



広島大学図書

01 0130449995



中央図書館

もくろく

8	7	6	5	4	3	2	1
村の おみせ	あきらさんの村	いなかへ	こうえん	大そうじ	じょうぶな からだ	おともだち	おとなり
28	22	19	16	14	10	6	2
先生 家庭のかたがたへ	子どもの あそびば	たんじょう会	しょうぼう	夕ごはん	おつかい	ゆうびん	えいがかい
46	44	42	38	34	32	30	



1. おとなり

「じゃんけんぽん。」「じゃんけんぽん。」はるおさんは、
いもうとの あき子さんと、石けりを して います。
ブー ブー。

「あつ、あぶない、トラックだ。」

トラックは、となりの いえの まえに とまりました。

おとうさんが、やくしよのおつとめから、かえって きます。

「どおりで あそぶと、あぶないよ。」

「ぼくたち、子どもの あそびばが ほしいなあ。」と、はるおさんが
いいました。





おとなり、山田さんが こして きました。
おかあさんは、はるおさんと あき子さんをつれて、ごあいさつ
に行きます。犬の ポチも、ついて きます。
「これは、とし子と みつおです。どうぞ、よろしく。」と、山田さん
の おばさんが いいました。
「かわいい あかちゃん。」と、あき子さんが いいました。
「いまに、おもりを させて いただきましょね。」と、おかあさん
が いいました。
山田さんたちは、大きな 町から こして きたのです。

2. おともだち

はるおさんは、とし子さんを
さそって、がっこうへ 行きます。

とし子さんは、おとうさんと

いっしょに 出て きました。

「おじさん、おはよう。」と、

はるおさんが いいました。

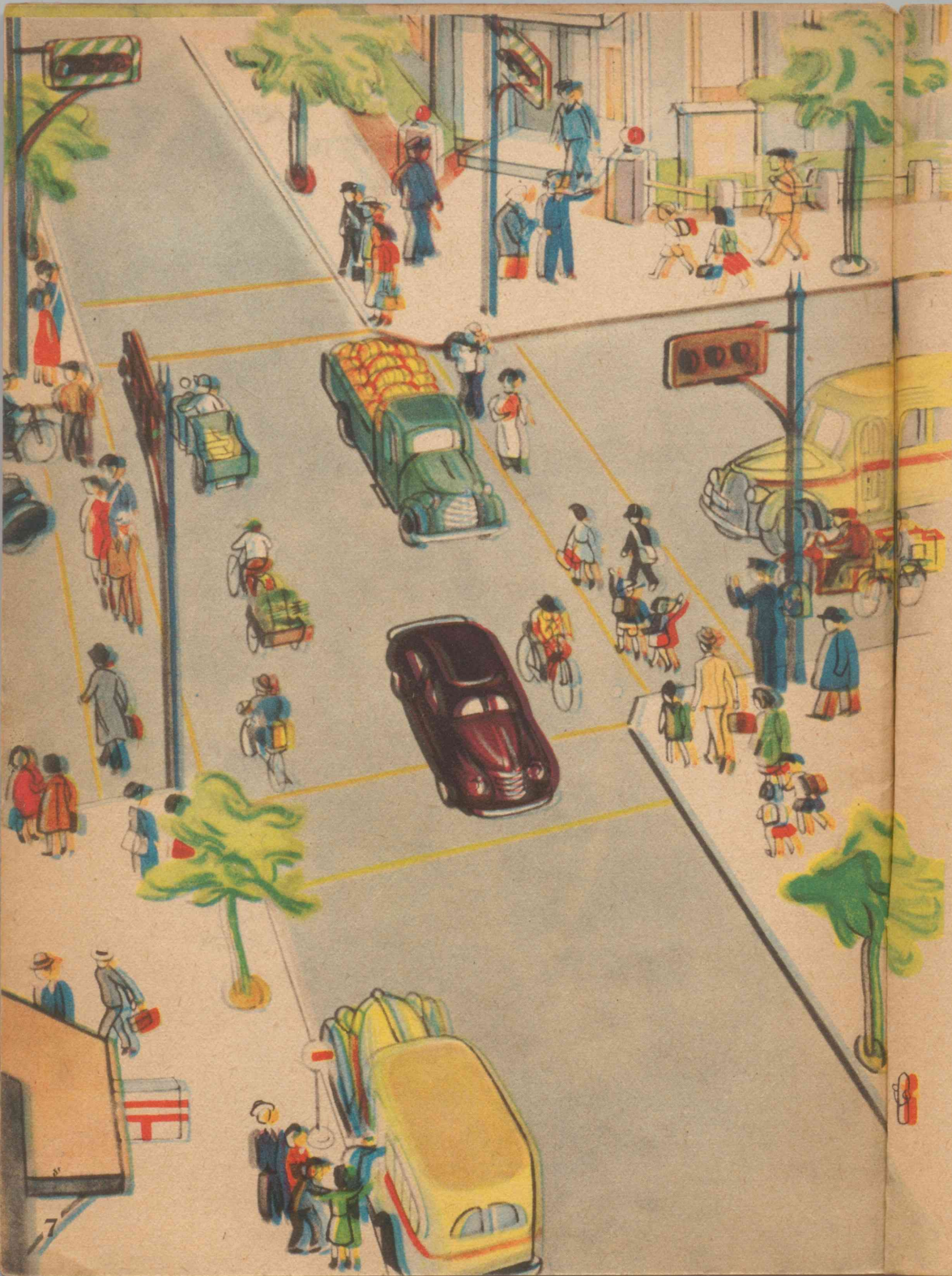
「おはよう。わたしも しょうぼう

しよまで いっしょに 行きますよ。」

と、おじさんが いいました。

十字ろに くと、しんごうは 赤です。青が 出ました。ふたり

は、おまわりさんに、「おはよう。」と いって、わたりました。





① えき ② しょうぼうしょ ③ ゆうびんきょく ④ けいさつしょ ⑤ やくしょ



「これは とし子さん。大きな町から こして きたの。みんな、なかよく しようね。」と、はるおさんが いいました。

はるおさんたちは、がっこうの 中を あんない しました。二かいの まどから、町を 見ます。

「あれが けいさつ。」「あそこに あるのが、しょうぼうしょ。」
「子どもの あそびばは。」と、としさんが ききました。

「まだ、この町には ないの。」と、はるおさんが、いいました。
「あそびばが ほしいなあ。」と、みんな いいました。



3. じょうぶなからだ



が
い
い
ま
し
た。

「どうしたら、みんな じょうぶに なるでしょうか。」と、せんせい

まさるさんは、おなかを いたく しました。

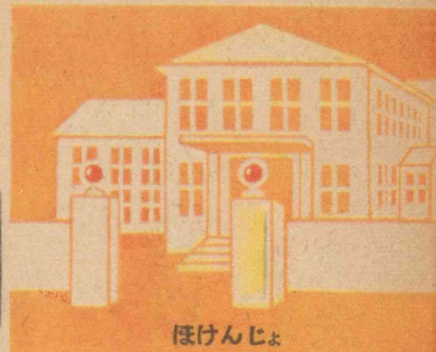
ちよ子さんは、かぜを ひきました。

やすんで います。

まいにち、あめが ふって います。きょうは、ふたり



わたしたちの

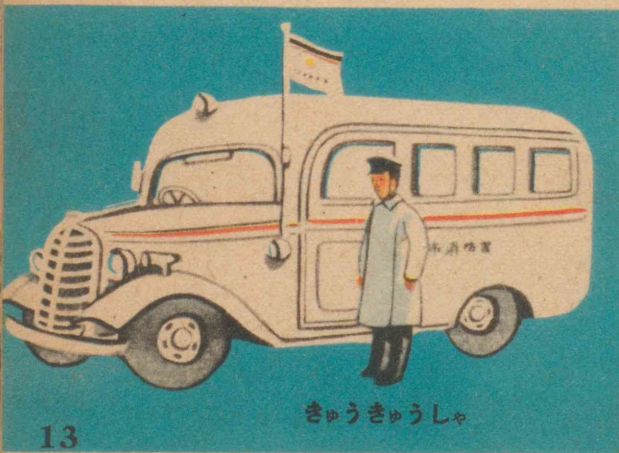
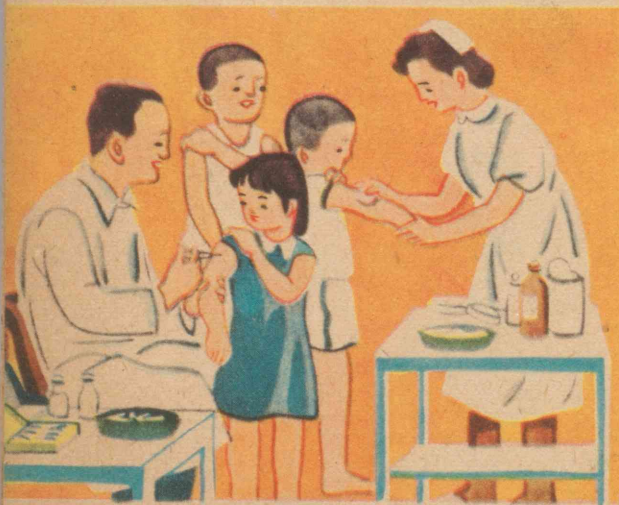


ほけんじょ

からだを まもって くださる 人たち



びょういん



きゅうきゅうしゃ

5. こうえん

「おかあさん、こうえんへ行ってもよいですか。」と、はるおさんがききました。

「あき子をつれて、いらっしやい。」

とし子さんも、あかちゃんを、うばぐるまにのせて、いっしょに行きます。

じろうさんたちは、もうきています。

みんな、いけのはたで、こいを見ています。

「ボールなげがしたいなあ。」と、

じろうさんがいいました。

「ぶらんこも、ほしいわ。」と、

とし子さんがいいました。



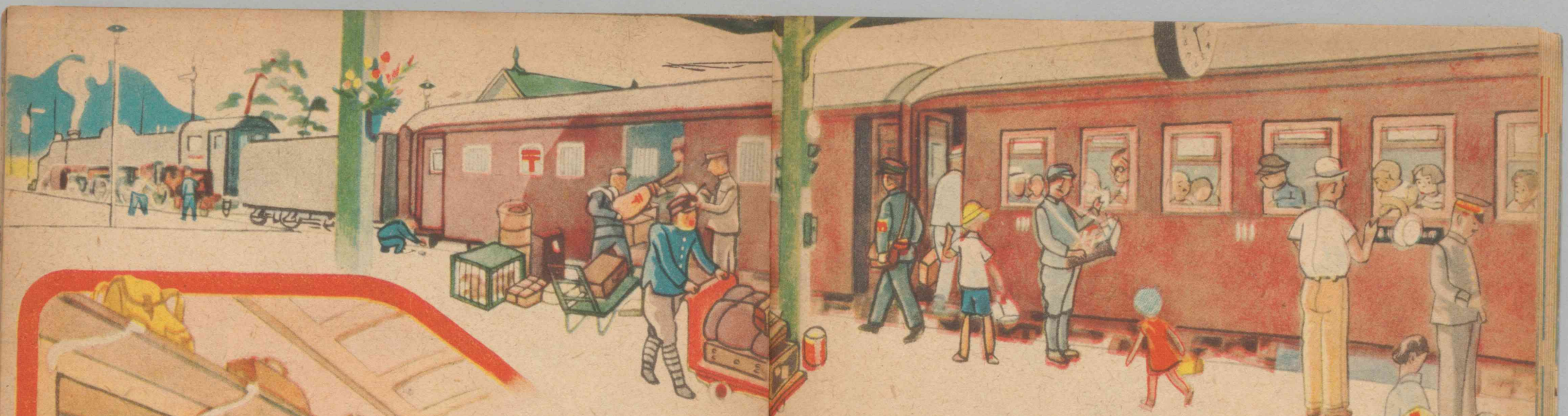
6. いなかへ



「木村さん、ゆうびん。」
 はるおさんは、げんかんへ 行き
 ました。
 「はい、はるおさん。」と、ゆうび
 んやさんが いました。
 「ぼくに。」と 言って、はがきを
 見ました。いとこの あきらさん
 からです。夏やすみに あそびに
 いらっしゃいと、かいて あります。

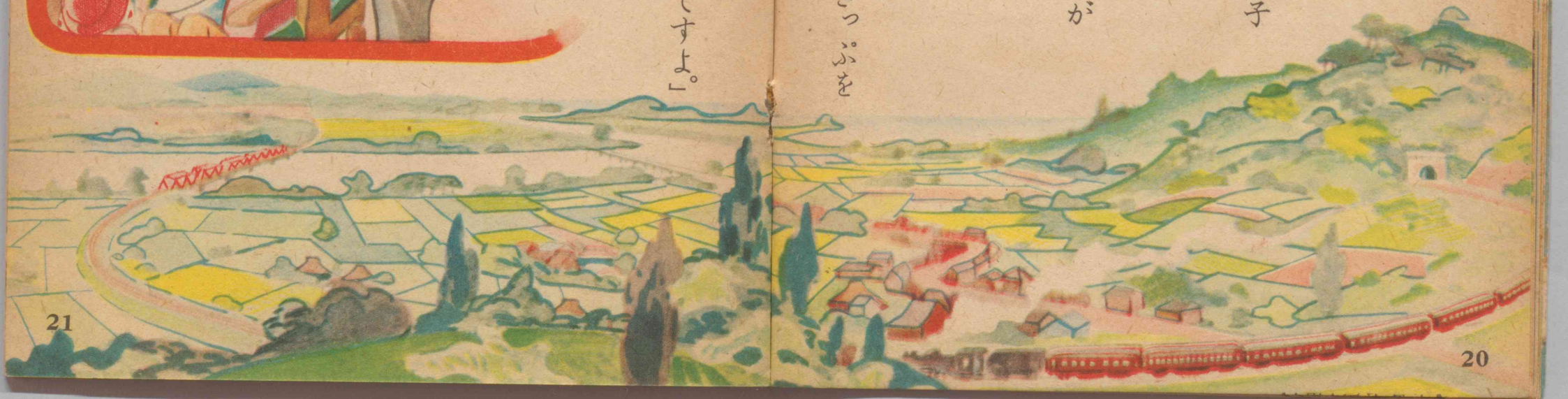


はるおさんの おとうさんが、
 町の 人たちと こうえんを 見に
 きました。
 「おじさん、子どもの あそびばを
 こしらえて ください。」と、
 子どもたちが いました。



しらべに きました。
 「この つぎの えきですよ。」
 と いって、にもつを
 おろして くれました。

はるおさんは、あき子
 さんと、いなかの
 おじさんの うちへ
 行きます。おとうさんが
 えきまで おくって
 くださいました。
 汽車の 中では、
 しゃしゅうさんが きつぷを





あきらさんが、むかえに きて
いました。

おじさんの うちは、ひろい

畑の まん中に あります。

「よく きたね。はるおも あき

子も、大きくなったね。」と、

おばさんが いました。

はるおさんたちは、うらの 畑へ
行きました。

「あ、すいかだ。」大きな かぼちゃ。

おばあさんの おてつたいを して

トマトを とりました。





あき、はやく おきました。

「にわとりにも、えさを やろう。」と、

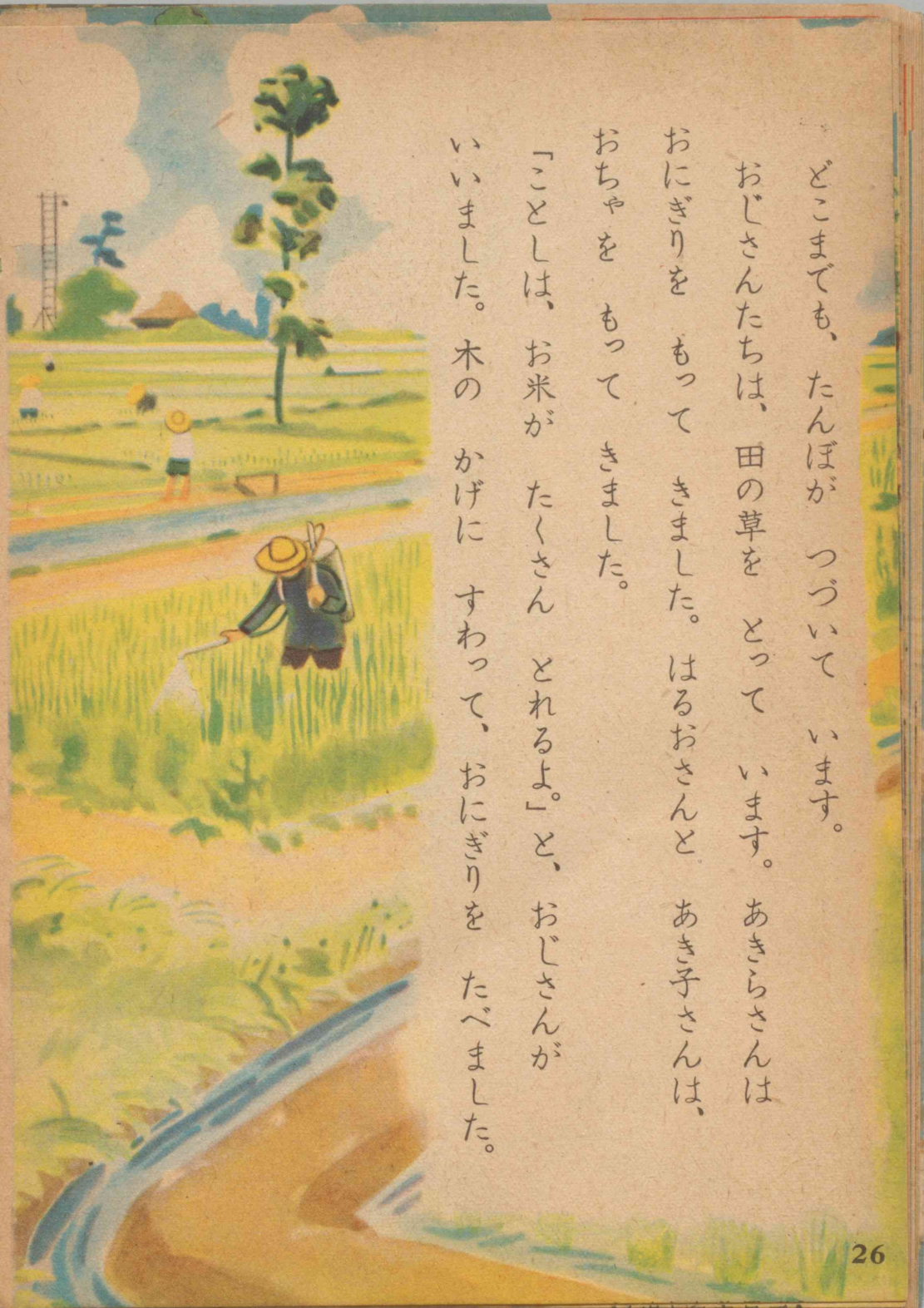
あきらさんが いいました。

「まいにち、ずいぶん たまごを うむよ。」と
いって、えさを たくさん やりました。

「あ、ぶたの子。」と、あき子さんが いいまし
た。ぶたの子は、ちちをのんでいます。とな
りの こやから、牛が、くびを出しています。

「これ、ちち牛。」ちがう。田を たがやしたり、
くるまを ひいたり するんだよ。」と、

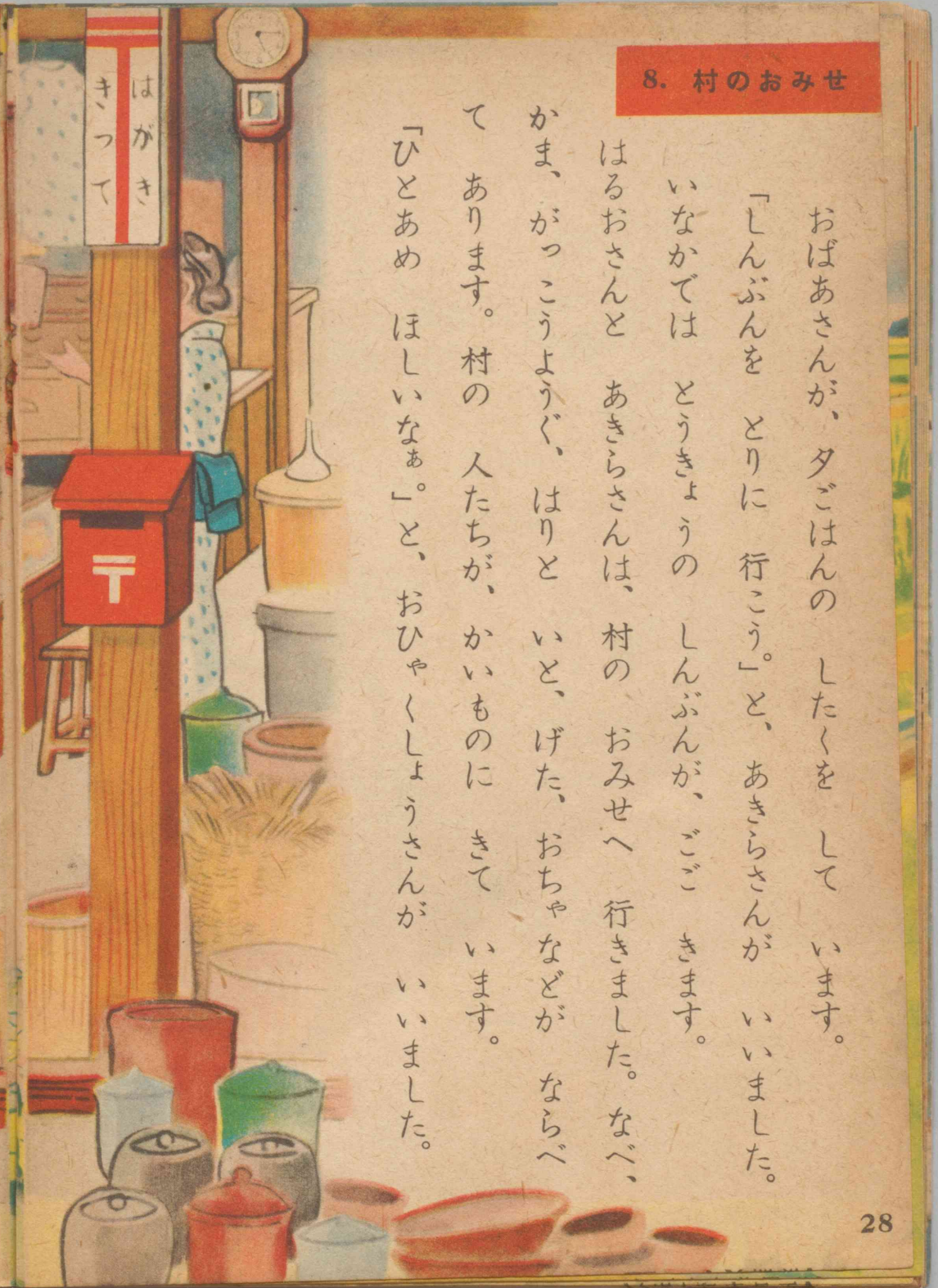
あきらさんが いいました。



どこまでも、たんぼが つづいて います。
おじさんたちは、田の草を とって います。あきらさんは
おにぎりを もって きました。はるおさんと あき子さんは、
おちゃを もって きました。
「ことしは、お米が たくさん とれるよ。」と、おじさんが
いいました。木の かげに すわって、おにぎりを たべました。

8. 村のおみせ

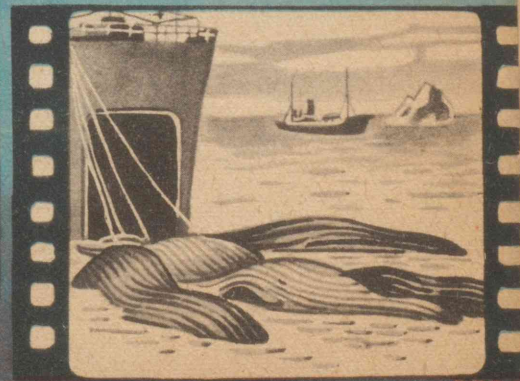
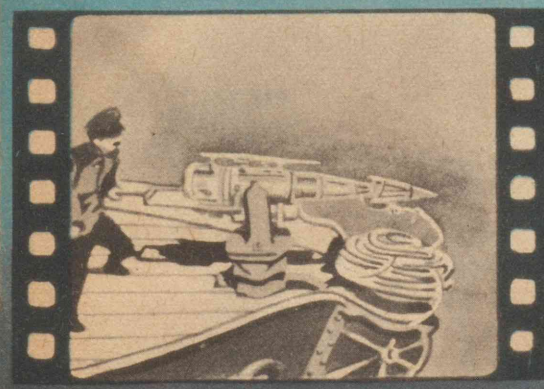
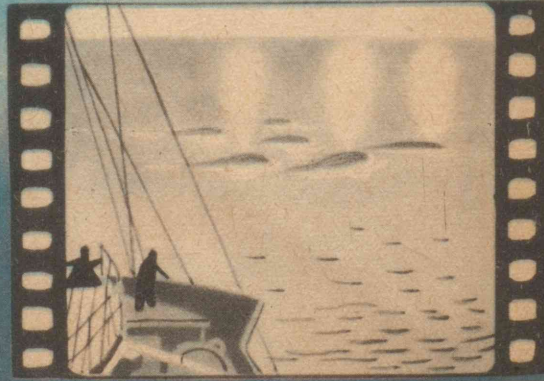
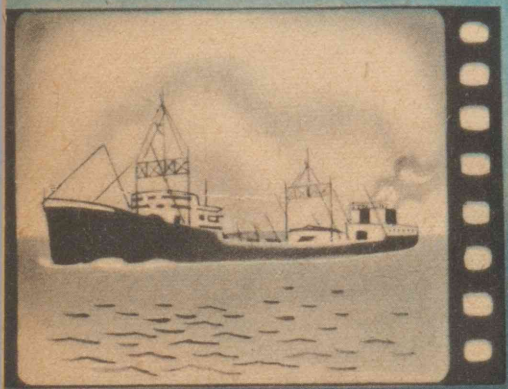
おばあさんが、夕ごはんの したくを して います。
 「しんぶんを とりに行こう。」と、あきらさんが いました。
 いなかでは どうきょうの しんぶんが、ごっこ きます。
 はるおさんと あきらさんは、村の おみせへ 行きました。なべ、
 かま、がっこうようぐ、はりど いと、げた、おちゃなどが ならべ
 て あります。村の 人たちが、かいものに きて います。
 「ひとあめ ほしいなあ。」と、おひやくしやうさんが いました。



9. えいがかい

「はるお、あおぞら えいがかいへ
つれて 行こうか。」と、おじさんが
いいました。

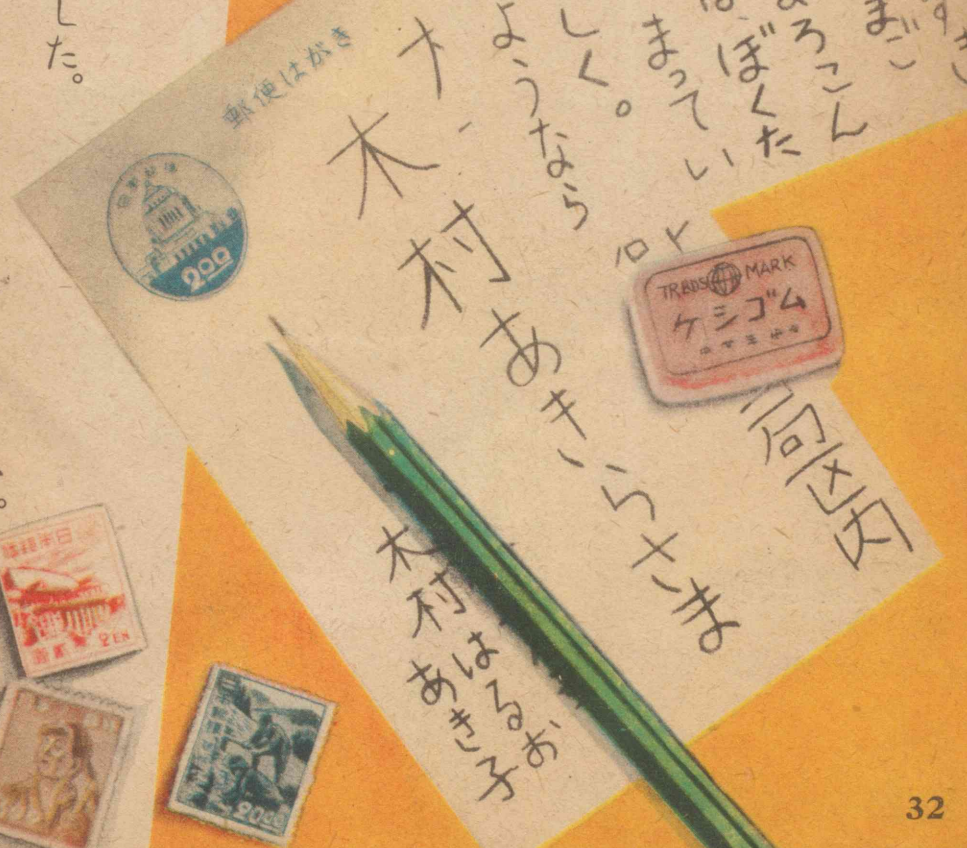
みんなで、がっこうの におへ 行きました。
村の 人たちが、たくさん あつまって います。
こんやは、なんぴょうようへ 行った、
ほげいせんの えいがです。





はるおさんは、はがきを
 ポストに いれに 行きました。
 どんなにして、あきらさんに
 とどくでしょうが。

あきらさんへ
 おはようございます。
 昨日は、お天気が良かったです。
 学校で勉強しました。
 先生に褒められました。
 ありがとうございます。
 さようなら。





11. おつかい



「はるおさん、パンをとってきて
 ください。」と、おかあさんがいいまし
 た。
 「ポチも いっしょに 行こう。」
 パンやでは、たくさんの人が なら
 んで、じゅんばんを まって います。
 はるおさんの ぱんが ききました。
 「はい、四にんさん。おつりを おとさ
 ないようにね。」と、パンやさんが いい
 ました。はるおさんは、パンを かごに
 入れて、みせを 出ました。



さかなやの まえでは、大きな
 さかなのはこを、トラックから
 おろしています。とし子さんが、
 おつかいからかえるところです。



「こうえんを とおって かえりましょう。」と、
 とし子さんが いいました。ポチも、おを、ふって
 ついて きます。
 「おや、なにを して いるんだろう。」と、
 はるおさんが いいました。おとなの 人たちが
 つちを ほったり、はこんだり して います。

はるおさんのうちでは、
タごはんです。

「この おさかなを、トラックから
おろして いるのを見ましたよ。」と、
はるおさんが いました。

「この ごはんは、ことしの お米です。」

と、おかあさんが いました。

おとうさんは

「あきらの うちでも、いそがしいだろう。」

と いました。

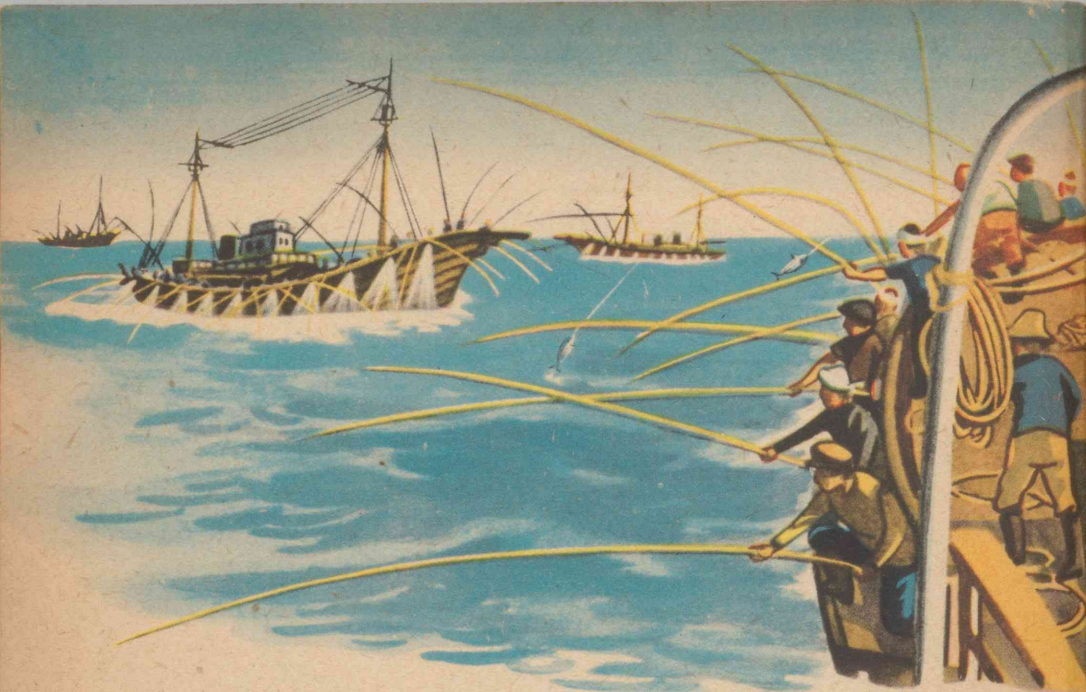
「どうして。」と、あき子さんが ききました。

「いねかりだもの。」と、はるおさんが
こたえました。

おとうさんが いました。

「町の いいんの人たちと そうだん
して、こんど、子どもの あそびばが
できる ことになったよ。ぶらんこ
も やきゅうじょうも あるんだよ。」
「あつ、こうえんの そばでしょ。」
と、はるおさんが、大きな こえで
いました。

「そうだよ。」





「ぼく、おつかいに行ったかえりに、
 つちほりして いるのを見たの。」
 と、はるおさんが いいました。

13. しょうぼう

さむく になりました。きょうしつに、ストーブ
 がはいりました。ゆうべは、じろうさんの うち
 の、ものおきが やけました。「じろうさん、たい
 へんだったね。」
 「どうして、かじに なったの。」
 「か
 じのない 町に したいなあ。」と、みんなが いいました。
 とし子さんの おとうさんに、おはなしを きくことに
 しました。山田さんは、しょうぼうふくを つけて、がっ
 こうへ きました。

おはなしが すみました。「おじさん、しょうぼうしよ
 を 見せて ください。」と、はるおさんが いいまし
 た。山田さんは、あんないして くださいました。



14. たんじょう会

はるおさんの くみの

たんじょう会です。かみざいくで

きょうしつを かざりました。

ももと、 つばきの 花を いけました。

三月に うまれた 子どもたちは、

まえの ほうに すわりました。

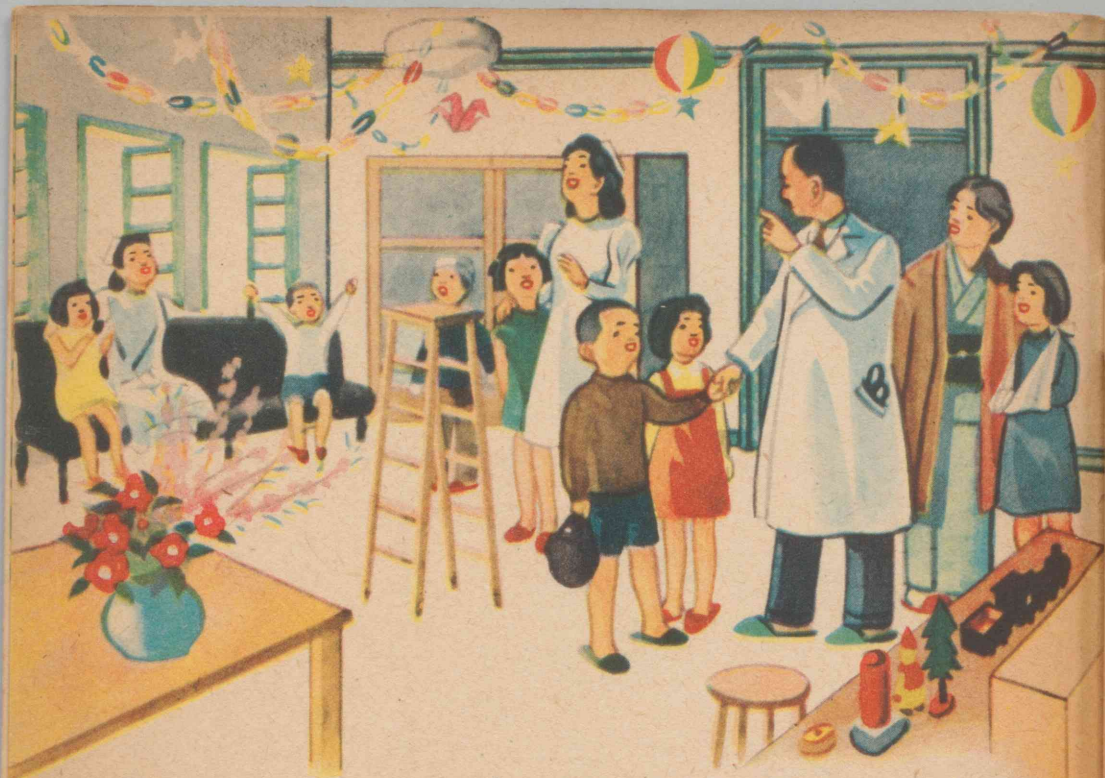
おたんじょう、 おめでどう。

おめでどう、 わたくしたちの おともたち。

おたんじょう、 おめでどう。

会が おわりました。花や、

かみざいくを、 かたづけ はじめました。



「この 花や、かみざいくを、子ども
もびょういんの みなさんに あげ
ましようか。」と、とし子さんが い
いました。

とし子さんと はるおさんたちが、

びょういんへ 行きました。花や、

かみざいくで、子どもたちの へや

を かざりました。かみざいくも、

てつだって くださいました。

15. 子どものあそびば

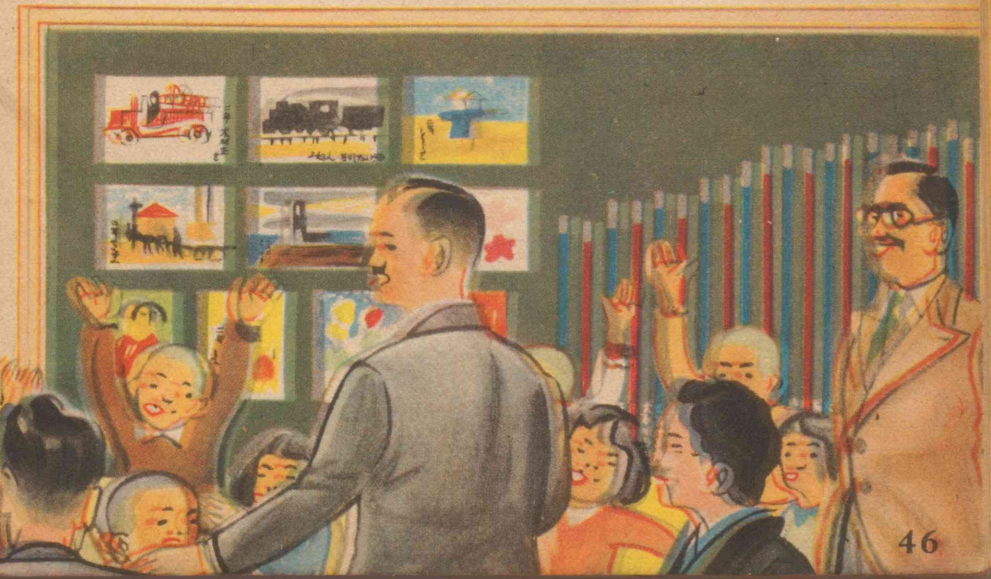


二年の おしまいの 日です。
 きょうしつを、きれいに そうじ
 しました。みんなの かいだ えを、
 かべに はりました。こうさくも
 ならべました。たいじゅうや せたけの
 ひょうも はりました。きょうは
 おとうさんたちも おきやくさまです。
 「みんな、えが うまいね。」
 「ずいぶん、めかたが ふえましたね。」
 「せも こんなに のびたんですか。」
 ひとりの おじさんが、

「みなさん、子どもの あそびばが
 できました。これからは あんしんして、
 あそべますよ。」と いいました。

みんな パチパチ 手を たたきました。

「うれしいわ。」
 「ありがとう。」
 「ありがとう。」
 みんな 立って、
 おれいを いいま
 した。



先生家庭のかたがたへ

1. 「子どものあそびば」は、文部省の学習指導要領社会科編、および小学校社会科学習指導要領補説にもとづいて編さんした二年生の社会科教科書であります。
2. この本では、「はるお」とし子」という二年の子どもを主人公とし、その一年間の生活を中心に、話の内容ができています。場所は小さい都会と、それからあまり遠くない農村にかけてあります。近所の交際、町と農村、商店、交通、郵便、公共のためにはたらく人などが、主題となっています。
3. この本のねらいは、社会生活にだんだん興味をもつようになってきた二年生の児童に、社会と自分との関係をはっきりと理解させ、将来のよい市民となる方向を示すことにあります。近所の人には親切であること、公共施設に対しては、子どもながらよくこれを理解し、協力すること、さらに進んでは、どうすればよい社会を作ることができるかという積極的な要求を持ち、その実現につとめることなどが、この本に具体的に示されています。
4. この本の内容を、社会科の指導要領の学習内容に照らし合わせると、次のように配当されています（数字は本書の頁を示す）。
 「近所の生活」 近所の人々の職業 2—3, 6 交際および協力 4—5, 14—15 利便の共用 14—15, 16—17 子どもと近所のおとな 4—5, 18, 46—47 子どもの近所での遊び 2—3, 16—17, 37, 46—47
 「農家」 農家の家屋 22 農家の作物や動物 23, 24—25 農家の人々の仕事 26—27 農家の道具 26—27 生産物の供出や販売 28—29, 41 農家の人々の楽しみ 30—31
 「商店」 商店の種類 34—35, 36 商品の経路 36 38—39, 40—41 商店のある場所 34—35, 36 商店の家のつくりや設備 34—35, 36 商店の人々 35—36 商店へのお使いのしかた 34—35
 「公共施設および公共のために働く人たち」 公共施設 8—9 学校 8—9 公園 16—17 子どもの遊び場 46 駅 20—21 郵便局 33 消防署 6, 8, 42—43 病院 45 医師 12—13, 45 警察官 6—7 消防夫 42—43 郵便集配人 19, 32—33 車掌 20—21
5. 本文では、きわめて簡潔にしかふれられなかつたことがありますが、それらはさしえて補うようにつとめました。文章とさしえとを十分に生かして、いろいろな学習活動に使用すれば、児童に有効な経験を与えることができることを確信します。

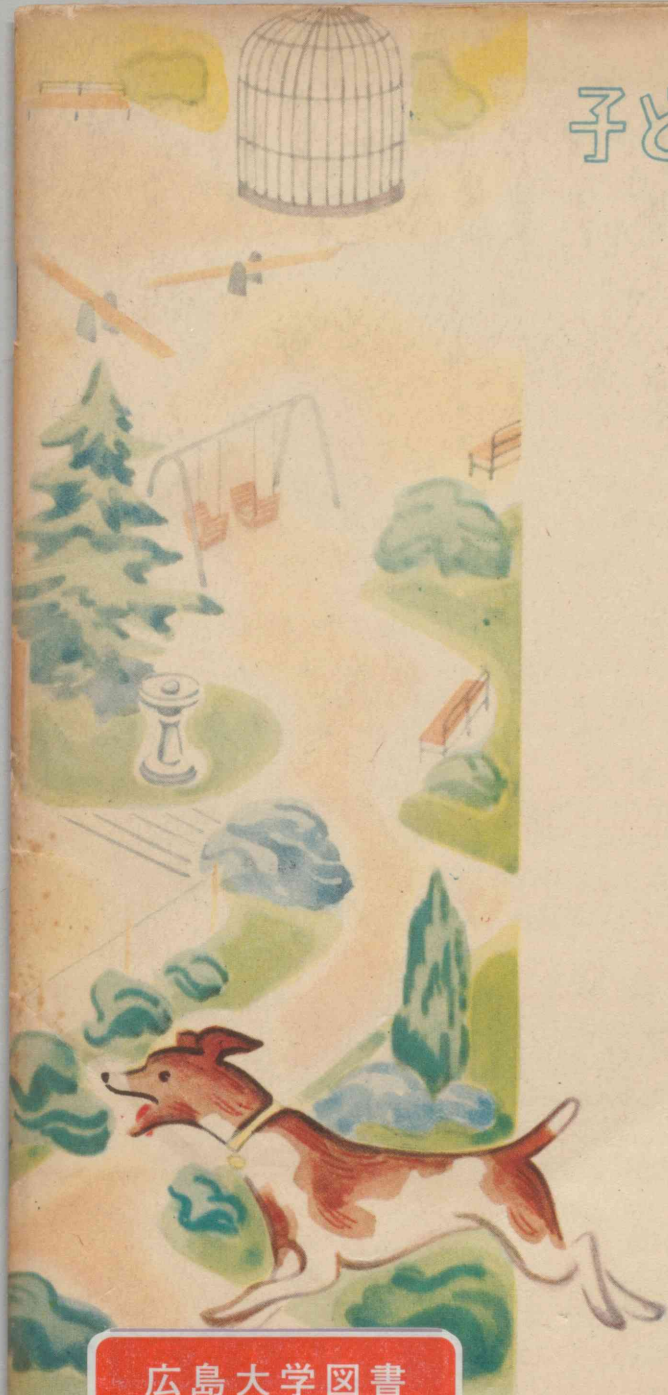
社会科編修委員会

坂西志保 (本巻執筆担当) 勝田守一 友野代三
 井上 尠 服部直人 副島民雄 (本巻執筆担当)
 宮下三七男 白崎海紀 (挿画及装釘)

—おもなことは—

あ行	かいもの 28	しんごう 6	にわとり 24
あいさつ 4	がっこう 6, 30, 42	しんぶん 28	は行
あそびば 2, 8, 18, 39, 47	がっこうようぐ 28	すいか 23	はがき 19, 32
石けり 2	かじ 42	ストーブ 42	畑 22, 23
いと 28	かぼちゃ 23	せたけ 46	はり 28
いなか 20, 28, 32	かま 28	せんせい 10	パン 34
いねかり 39	かんごふさん 45	そうじ 46	パンや 34
牛 24	きしゃ 20	た行	びょういん 45
えいが 30	きっぷ 20	田, たんぼ 26	ぶたの子 24
えいがかい 30	きょうしつ 42, 46	たいじゅう 46	ふゆやすみ 32
えき 20, 21	くるま 24	たまご 24, 32	ぶらんこ 16, 39
えさ 24	けいさつ 8	たんじょう会 44	ボールなげ 16
大そうじ 14	けすい 14	ちち牛 24	ほけいせん 30
お米 26, 38	けた 28	ちゃ 26, 28	ポスト 32
おちゃ 26, 28	けんかん 19	ごあいさつ 4	ま行
おつかい 36, 40	ごあいさつ 4	こうえん 16, 18, 37, 39	町 4, 8, 14, 39
おつり 34	こや 24	米 26, 38	みせ 28
おてつだい 23	さ行	こや 24	てつだい 23
おとなり 4	さかな 36, 38	となり 2, 4	とまり 23
おともだち 44	さかなや 36	トマト 23	ともだち 44
おにぎり 26	しゃしょうさん 20	トラック 2, 36, 38	な行
おひゃくしょうさん 28	十字ろ 6	なべ 28	やきゅうじょう 39
おまわりさん 6	しょうぼうし 6, 8, 42	なんびょうよう 30	やくしよ 2
おみせ 28	しょうぼうふく 42	にもつ 21	夕ごはん 28, 38
おもり 4	か行		ゆうびん 19
			ゆうびんやさん 19

子どものあそびば



Approved by Ministry of Education
(Date 1950)

小学生のしゃかい

子どものあそびば 2年用

昭和25. 5. 25, 印制 小社 201
昭和25. 5. 30, 発行

(昭和25. . . 文部省検定済)

著者 日本書籍社会科編修委員会
代表者 坂西志保

発行者 日本書籍株式会社
代表者 木村瀨之助
東京. 文京. 久堅. 108

印刷者 共同印刷株式会社
代表者 大橋芳雄
東京. 文京. 久堅. 108

発行所 日本書籍株式会社
東京. 文京. 久堅. 108

広島大学図書

0130449995



日本書籍株式会社